

「福島第一原子力発電所の廃炉等の実施に係る周辺地域の安全確保協定」
による福島第一原子力発電所の状況確認結果

平成27年4月3日
福島県原子力安全対策課

本日（4月3日）、「福島第一原子力発電所の廃炉等の実施に係る周辺地域の安全確保協定」による福島第一原子力発電所の状況確認を行いました。その結果は以下のとおりです。

1 確認日時

平成27年4月3日（金）12:00～15:00

2 確認者

樵危機管理部長、菅野原子力安全対策課長、高坂原子力総括専門員 他1名

3 確認項目及び確認結果

・資料による説明聴取

①廃炉作業の取組状況

②汚染水の処理状況

③K排水路における対策実施状況

④H4タンクエリア外周堰雨水流出及び高線量全ベータ検出への対策実施状況

⑤B・C排水路側溝モニタ高高警報発報における原因調査状況

・現場確認

①1・2号機開閉所東側法面

・1～4号機原子炉建屋

・凍土遮水壁工事状況

・2号機原子炉建屋大物搬入口屋上（K排水路汚染源）対策実施箇所

②K排水路（排水口）

・仮設ポンプ設置状況

・C排水路へのライン設置状況

③H4タンクエリア内周堰・外集堰対策実施状況

4 確認時危機管理部長発言（概要）

○ 汚染水等については、その全体を管理、コントロールするという強い意志を持って対応すること。

○ 情報提供や汚染水のコントロールなど、当面の課題の他、その後の燃料の取りだし等、さまざまな課題がある。困難な状況の中ではあるが、所長のリーダーシップの下、前進が得られるよう進めること。

- H I Cの件は公表に時間がかかっているが、社内の情報伝達がスムーズにいったくないのではないか。速やかな情報公開についての関係者の意識の徹底を図ること。

5 現場確認状況



免震重要棟会議室にて廃炉汚染水対策の説明を受けている様子
(右側中央が樵危機管理部長、左側手前が小野明福島第一原発所長)



K 排水路出口の状況を確認している様子